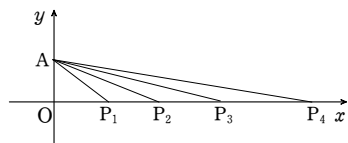


マチンの公式【類題】

右図のような座標平面上の点

$A(0, 1), O(0, 0), P_n(n, 0)$

(n は自然数) に対して、 $\theta_n = \angle AP_nO$ とおく。



以下の問いに答えなさい。

- $\tan(\theta_m + \theta_n) = 1, m \leq n$ となる自然数の組 (m, n) をすべて求め、それ以外にない理由を述べなさい。
- $\tan(\theta_\ell + \theta_m + \theta_n) = 1, \ell \leq m \leq n$ となる自然数の組 (ℓ, m, n) をすべて求め、それ以外にない理由を述べなさい。

< '06 首都大学東京 (東京都立大) >

【戦略】

- $\tan(\theta_m + \theta_n) = 1$ に対して加法定理を用いると

$$\frac{\tan \theta_m + \tan \theta_n}{1 - \tan \theta_m \tan \theta_n} = 1$$

となります。

設定から、 $\tan \theta_m = \frac{1}{m}, \tan \theta_n = \frac{1}{n}$ であるため

$$\frac{\frac{1}{m} + \frac{1}{n}}{1 - \frac{1}{m} \cdot \frac{1}{n}} = 1, \text{ すなわち } \frac{m+n}{mn-1} = 1 \text{ を得ます。}$$

これを整理すれば、 $mn - m - n - 1 = 0$ という定番の不定方程式です。

- 例題が $\alpha + \beta + \gamma = \frac{\pi}{4}$ と最初から和が $\frac{\pi}{4}$ と与えられているのに対し、今回は $\tan(\theta_\ell + \theta_m + \theta_n) = 1$ という条件の与えられ方をしています。

ラフに鋭角と見積もると、 $0 < \theta_\ell + \theta_m + \theta_n < \frac{3}{2}\pi$ なので

$$\theta_\ell + \theta_m + \theta_n = \frac{\pi}{4}, \frac{5}{4}\pi \text{ という可能性があります。}$$

ただ、これはラフに考えすぎで、一番大きな角度である θ_ℓ でさえ $\frac{\pi}{4}$ 以下です。

したがって、 $\theta_\ell + \theta_m + \theta_n = \frac{5}{4}\pi$ となることはなく、結局は

$$\theta_\ell + \theta_m + \theta_n = \frac{\pi}{4}$$

となります。

ここから先は例題同様のため割愛します。

【解答】

- $\tan \theta_m = \frac{1}{m}, \tan \theta_n = \frac{1}{n}$ であり、 $\tan(\theta_m + \theta_n) = 1$ より

$$\frac{\tan \theta_m + \tan \theta_n}{1 - \tan \theta_m \tan \theta_n} = 1$$

$$\text{ゆえに、} \frac{\frac{1}{m} + \frac{1}{n}}{1 - \frac{1}{m} \cdot \frac{1}{n}} = 1, \text{ すなわち } \frac{m+n}{mn-1} = 1$$

これより、 $mn - m - n - 1 = 0$ を得る。

これは、 $(m-1)(n-1) = 2$ と変形できる。

$1 \leq m \leq n$, すなわち $0 \leq m-1 \leq n-1$ であることに注意すれば

$$\begin{cases} m-1=1 \\ n-1=2 \end{cases}$$

ゆえに、求める m, n の組は $(m, n) = (2, 3)$ に限る。… 〇

- $1 \leq \ell \leq m \leq n$ より、 $0 < \frac{1}{n} \leq \frac{1}{m} \leq \frac{1}{\ell} \leq 1$, すなわち

$$0 < \tan \theta_n \leq \tan \theta_m \leq \tan \theta_\ell \leq \tan \frac{\pi}{4}$$

$\theta_\ell, \theta_m, \theta_n$ は鋭角の範囲内の角度であり、

$$0 < \theta_n \leq \theta_m \leq \theta_\ell \leq \frac{\pi}{4}$$

$$\text{ゆえに、} 0 < \theta_\ell + \theta_m + \theta_n \leq \frac{\pi}{4} + \frac{\pi}{4} + \frac{\pi}{4} = \frac{3}{4}\pi$$

この範囲内で $\tan(\theta_\ell + \theta_m + \theta_n) = 1$ となる $\theta_\ell + \theta_m + \theta_n$ は

$$\theta_\ell + \theta_m + \theta_n = \frac{\pi}{4}$$

今、 $\theta_\ell, \theta_m, \theta_n$ は正の角度であることを考えると

$$\theta_\ell < \theta_\ell + \theta_m + \theta_n \leq \theta_\ell + \theta_\ell + \theta_\ell, \text{ すなわち } \theta_\ell < \frac{\pi}{4} \leq 3\theta_\ell \text{ となる。}$$

$$\text{これより、} \frac{\pi}{12} \leq \theta_\ell < \frac{\pi}{4} \text{ を得るため、} \tan \frac{\pi}{12} \leq \tan \theta_\ell < \tan \frac{\pi}{4}$$

$$\tan \frac{\pi}{12} = \tan\left(\frac{\pi}{4} - \frac{\pi}{6}\right) = \frac{\tan \frac{\pi}{4} - \tan \frac{\pi}{6}}{1 + \tan \frac{\pi}{4} \tan \frac{\pi}{6}} = \frac{1 - \frac{1}{\sqrt{3}}}{1 + \frac{1}{\sqrt{3}}} = 2 - \sqrt{3}$$

$$\text{ゆえに、} 2 - \sqrt{3} \leq \frac{1}{\ell} < 1, \text{ すなわち } 1 < \ell \leq 2 + \sqrt{3}$$

これを満たす整数 ℓ は $\ell = 2, 3$

$\theta_m + \theta_n = \frac{\pi}{4} - \theta_\ell$ より, $\tan(\theta_m + \theta_n) = \tan\left(\frac{\pi}{4} - \theta_\ell\right)$ であり

$$\frac{\tan \theta_m + \tan \theta_n}{1 - \tan \theta_m \tan \theta_n} = \frac{\tan \frac{\pi}{4} - \tan \theta_\ell}{1 + \tan \frac{\pi}{4} \tan \theta_\ell}$$

$$(*) \text{ より, } \frac{\frac{1}{m} + \frac{1}{n}}{1 - \frac{1}{m} \cdot \frac{1}{n}} = \frac{1 - \frac{1}{\ell}}{1 + \frac{1}{\ell}}$$

これを整理すると, $\frac{m+n}{mn-1} = \frac{\ell-1}{\ell+1} \dots (*)$

$$(i) \ell=2 \text{ のとき } (*) \text{ は } \frac{m+n}{mn-1} = \frac{1}{3}$$

これを整理すると, $mn - 3m - 3n - 1 = 0$

$$(m-3)(n-3) = 10$$

(2=) $\ell \leq m \leq n$ より, $-1 \leq m-3 \leq n-3$ に注意すると

$m-3$	1	2
$n-3$	10	5

これより, $(m, n) = (4, 13), (5, 8)$

$$(ii) \ell=3 \text{ のとき } (*) \text{ は } \frac{m+n}{mn-1} = \frac{1}{2}$$

これを整理すると, $mn - 2m - 2n - 1 = 0$

$$(m-2)(n-2) = 5$$

(3=) $\ell \leq m \leq n$ より, $1 \leq m-2 \leq n-2$ に注意すると

$$\begin{cases} m-2=1 \\ n-2=5 \end{cases}$$

これより, $(m, n) = (3, 7)$

以上 (i), (ii) より, 求める ℓ, m, n の値の組は

$(\ell, m, n) = (2, 4, 13), (2, 5, 8), (3, 3, 7)$ に限る … 罫

【総括】

(1) で得た, $\text{Arctan} \frac{1}{2} + \text{Arctan} \frac{1}{3} = \frac{\pi}{4}$ という結果は, 例題の最後で触れたオイラーの発見した関係式です。

(2) の結果の一部である $2 \text{Arctan} \frac{1}{3} + \text{Arctan} \frac{1}{7} = \frac{\pi}{4}$ という結果もハットンという数学者とオイラーが独立に発見しています。